

非常備蓄品・持ち出し品の準備

「非常備蓄品」とは、外部からの救援物資などが届くまでの数日間を自足できるように準備しておくものです。
最低3日以上、できれば1週間分程度は自分で対処できるよう準備をしておきましょう。この備蓄品とは別に、避難する際に必要最低限のものをすぐ持ち出せるように袋に入れて用意しておくのが「非常持ち出し品」です。
どちらも家族構成などを考えて、必要な分を準備しておくようにしましょう。

非常備蓄品チェックリスト

- ☐ 飲 食 料 品 米や簡単な調理で食べられるものを1人最低3日分、水は1人1日3リットル
- ☐ 食 器 ・ 箸 類 箸・スプーン・紙コップ・紙皿など、食品用ラップやアルミホイルは皿代わりにも使えます。
- ☐ カセットコンロ 電気で点火するコンロは避け、予備のガス缶も用意しましょう。
- ☐ 生 活 用 水 断水に備え、ポリタンクや浴そうに水道水をためておきましょう。
- ☐ 衛 生 用 品 マスク、消毒液、体温計、ドライシャンプー、ウェットティッシュなど
- ☐ 照 明 用 具 マッチ・ろうそく・ライター・ランタンなど持ち運びができ、すぐに点火できるもの



非常持ち出し品チェックリスト

- ☐ 貴 重 品 現金・預金通帳・キャッシュカード・印鑑・健康保険証・運転免許証など
- ☐ 避 難 用 具 懐中電灯・携帯ラジオなど、予備の電池も忘れずに用意
- ☐ 飲 料 水 持ち運びできるペットボトル入りのもの
- ☐ 非 常 食 乾パンや缶詰など火を使わなくても食べられるもの、アレルギー対応食なども
- ☐ 救 急 用 具 絆創膏・包帯・消毒液・常備薬・持病薬、おくすり手帳も忘れずに
- ☐ 生 活 用 品 洗面道具・ティッシュ・携帯用トイレ・生理用品・万能ナイフ・ビニール袋・軍手・メガネなど
- ☐ 衣 料 品 下着・靴下・長袖・長ズボン・雨具など、季節によっては防寒具も用意しましょう。

●感染症対策用品

- ☐ 使い捨てマスク
- ☐ 体温計
- ☐ 除菌シート



赤ちゃんや高齢者のいる家庭は必要に応じてプラス

- ☐ 粉ミルク・ほ乳びん
- ☐ ベビーフード・おやつ
- ☐ 紙おむつ・おしりふき
- ☐ 絵本・おもちゃ
- ☐ 簡易トイレ
- ☐ 大人用紙おむつ
- ☐ 介護用品
- ☐ 予備のメガネや補聴器 など

ローリングストック法の実践

日常の食材のストックと災害用の食料品とを分けずに、常に少し多めに一定量の食料品を家に備蓄しておく方法をローリングストック法と言います。ローリングストック法のポイントは、日常生活で消費しながら備蓄することです。食料等を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることが目的です。



①古いものから使うこと

備蓄する食料が古くなってしまわないよう、必ず一番古いものから使うようにしましょう。新しいものを奥に配置し、手前の古いものから使っていく、というように、備蓄方法のルールを決めて上手に循環させることが大切です。

②使った分は必ず補充すること

ストックしているものはいつ食べても構いませんが、消費した分は必ず買い足すようにしましょう。補充を怠ったタイミングで災害が来る可能性もあります。消費した分の補充は必ず直後に行いましょう。

※最低3日以上上の食料を備蓄しましょう。

令和4年9月作成



潮来市

総合防災マップ



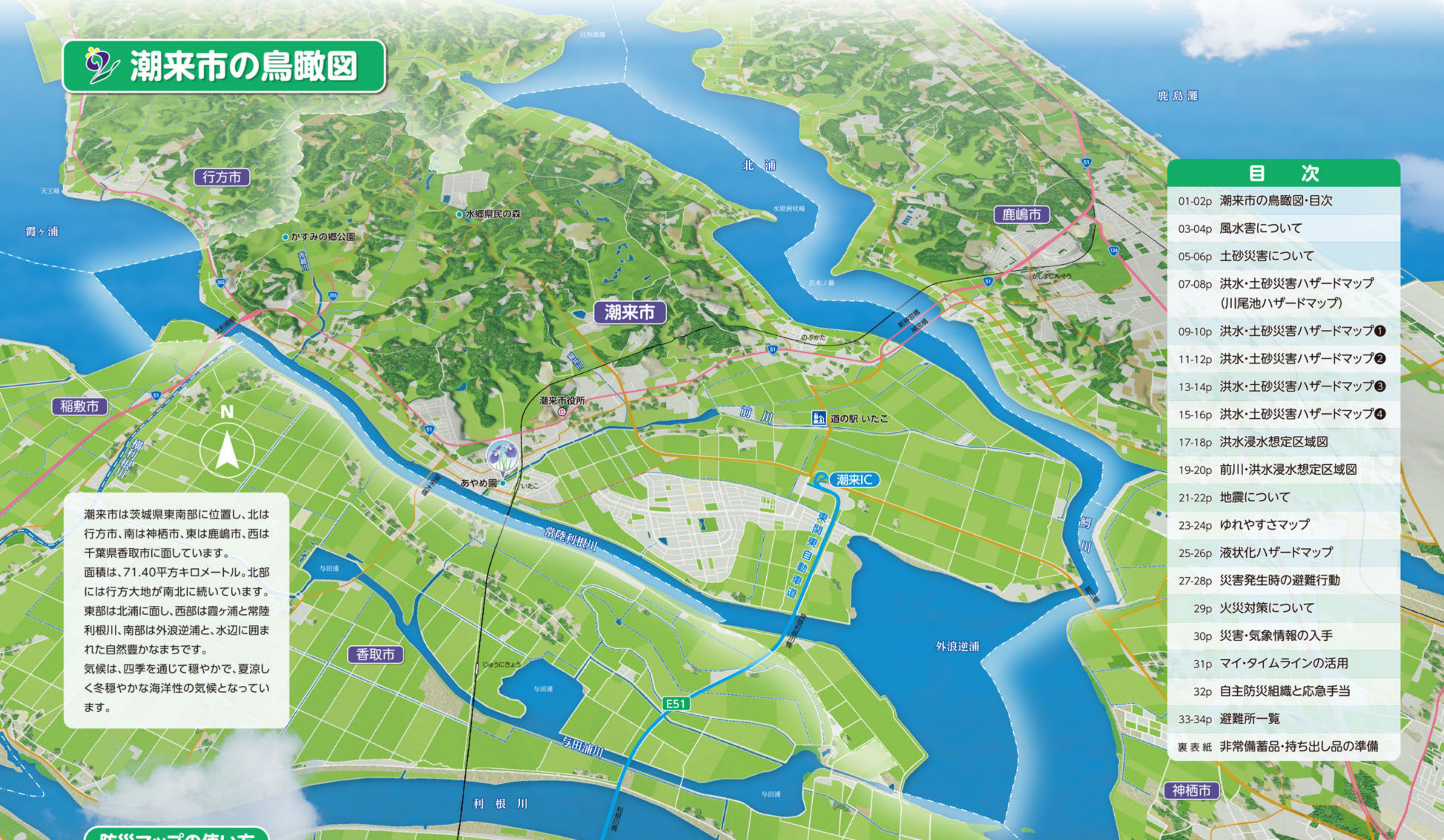
保存版



潮来市

〒311-2493 茨城県潮来市辻 626
Tel.0299-63-1111 / Fax.0299-80-1100
ホームページ <https://www.city.itako.lg.jp/>

潮来市の鳥瞰図



潮来市は茨城県東南部に位置し、北は行方市、南は神栖市、東は鹿嶋市、西は千葉県香取市に面しています。面積は、71.40平方キロメートル。北部には行方大地が南北に続いています。東部は北浦に面し、西部は霞ヶ浦と常陸利根川、南部は外浪逆浦と、水辺に囲まれた自然豊かなまちです。気候は、四季を通じて穏やかで、夏涼しく冬穏やかな海洋性の気候となっています。

目次

01-02p	潮来市の鳥瞰図・目次
03-04p	風水害について
05-06p	土砂災害について
07-08p	洪水・土砂災害ハザードマップ (川尾池ハザードマップ)
09-10p	洪水・土砂災害ハザードマップ①
11-12p	洪水・土砂災害ハザードマップ②
13-14p	洪水・土砂災害ハザードマップ③
15-16p	洪水・土砂災害ハザードマップ④
17-18p	洪水浸水想定区域図
19-20p	前川・洪水浸水想定区域図
21-22p	地震について
23-24p	ゆれやすさマップ
25-26p	液状化ハザードマップ
27-28p	災害発生時の避難行動
29p	火災対策について
30p	災害・気象情報の入手
31p	マイ・タイムラインの活用
32p	自主防災組織と応急手当
33-34p	避難所一覧
裏表紙	非常備蓄品・持ち出し品の準備

防災マップの使い方

潮来市総合防災マップは、災害時の避難場所・避難所や防災関係施設の位置、注意すべき災害危険箇所などを取りまとめたものです。「最寄りの避難場所・避難所はどこか?」「問い合わせ先はどこか?」等を確認のうえ、分かりやすいところに保管してください。みなさんが災害について関心を持ち、いざというときに落ち着いて行動できるように日頃から正しい防災知識を身につけておくことが大切です。なお、避難場所・避難所については必ずしも全ての災害に適しているものではありませんので、災害の種類に応じた避難場所・避難所を確認しておいてください。

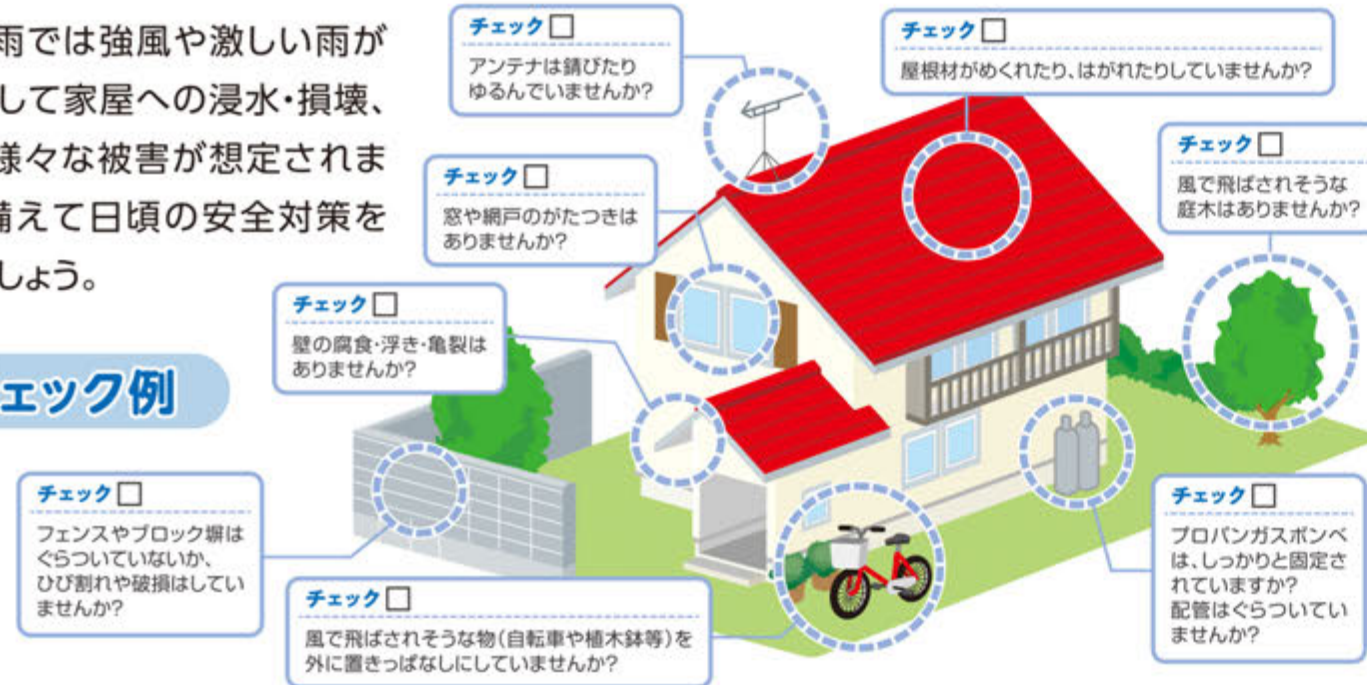


「自助・共助・公助」の3つが機能してこそ災害に負けない地域力が生まれます。集中豪雨や土砂崩れ・地震など自然災害が多発している今こそ、家族とともに自分自身の災害への備えを整え、いつか来るかもしれないその日のために地域の人々と防災への準備を進めましょう。

風水害について

台風や集中豪雨では強風や激しい雨が降るため、時として家屋への浸水・損壊、河川氾濫など様々な被害が想定されます。風水害に備えて日頃の安全対策をしっかりと行いましょう。

自宅のチェック例

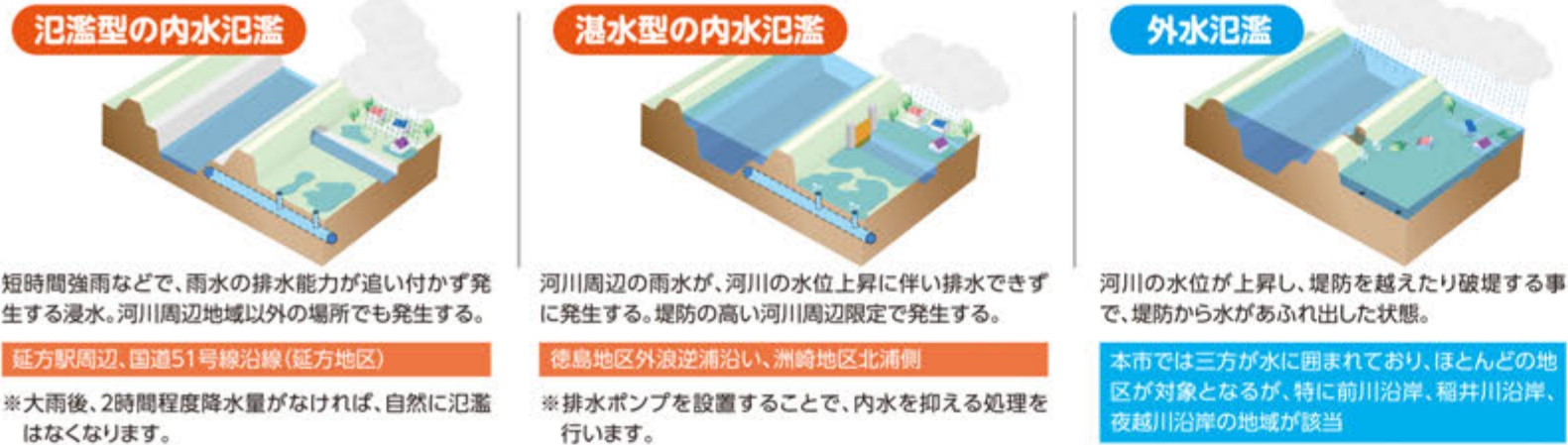


雨の強さと降り方

強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	線状降水帯とは・・・
1時間に20～30mm未満	1時間に30～50mm未満	1時間に50～80mm未満	1時間に80mm以上の雨	
土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。テレビ・ラジオなどで今後の様子に注意し、長引きそうなら避難の心構えを。	バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ・がけ崩れが起こりやすくなります。避難の準備を。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川は氾濫し、水害発生の可能性が高まります。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。	次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなし、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過又は停滞することで作り出される。線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水を伴う雨域のことを言います。

内水・外水氾濫による浸水に注意

- 内水… 下水道の雨水排水能力を超える降雨により、雨を河川等の公共の水域に放流できない場合に発生する浸水です。
- 外水… 河川の堤防から水が溢れ、又は堤防が決壊して、河川の水が流れ出して引き起こされる浸水です。



竜巻の発生に注意



竜巻注意情報が発表されたら・・・

- ① 空の様子に注意する
- ② 気象庁「竜巻発生確度ナウキャスト」を確認
<http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/?contentType=2>



潮来市河川の危険水位

河川名	観測地点	消防団 待機水位	氾濫注意 水位	避難判断 水位	氾濫危険 水位	上段：管理 下段：分類
霞ヶ浦	出島	1.5	2.1	2.5	2.6	直接管理河川 洪水予報河川
常陸利根川	出島・白浜	1.5	2.1	2.5	2.6	直接管理河川 洪水予報河川
鰯川	出島・白浜	1.5	2.1	2.5	2.6	直接管理河川 洪水予報河川
北浦	白浜	1.5	2.1	2.5	2.6	直接管理河川 洪水予報河川
利根川	横利根	2.1	2.85	3.9	4.4	直接管理河川 洪水予報河川
小貝川	小貝川水海道	3.8	4.6	6.1	6.5	直接管理河川 洪水予報河川
前川	潮来大橋	1.5	1.6	1.7	1.8	県管理河川 水位周知河川

避難警戒レベルに注意

風水害の発生が予想される場合、状況に応じて下記の警戒レベルが発令されます。地域の方々にも声をかけながら、それぞれの警戒レベルに合わせてしっかりと行動しましょう。

災害の危険度	警戒レベル	住民がとるべき避難行動	避難情報と気象情報	情報発信
災害発生 全員避難!! 高齢者等は避難!	5	すでに災害が発生しています！ 命を守るための最善の行動をとってください。	緊急安全確保※1 大雨特別警報 氾濫発生情報	避難情報 気象情報
～<警戒レベル4までに必ず避難！>～				
	4	危険な場所から 全員避難してください。 避難所へ避難しましょう。	避難指示 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	避難情報 気象情報
	3	危険な場所から 高齢者等は避難しましょう。 他の住民のみなさんは、 避難の準備をしましょう。	高齢者等避難※2 大雨・洪水警報 氾濫警戒情報	避難情報 気象情報
	2	避難に備え、ハザードマップなどにより 自らの避難行動を確認する。	大雨・洪水・氾濫 注意報	気象情報
	1	防災気象情報などの最新情報に注意するなど、 災害への心がまえを高める。	早期注意情報（警報級の可能性）	気象情報

※身の危険を感じたときには警戒レベルに関わらず避難してください。また、必ずしも段階的にレベル1から順に発令されるとは限りません。

※1: 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、必ず発令される情報ではありません。

※2: 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5に相当する
大雨特別警報が発表されたら

数十年に一度、これまでに経験したことのないような、
重大な危険が差し迫った異常な状況にあります。
ただちに「命を守る行動」をとってください！

平成以降の潮来市風水害一覧

	年	日付	事象	被害状況										備考	
				負傷者	全壊	半壊	一部損壊	床上水浸	床下水浸	土砂崩れ	道路通行止	道路陥没等	停電世帯数		
1	平成3年	9月8日	台風15号						10						
2	平成3年	9月19日	台風18号					2	10						記録が不明のため、防災計画から引用
3	平成3年	10月23日	台風21号					3	21						
4	平成8年	9月22日	台風17号			2	7		3	4	8	7			
5	平成14年	10月1日～2日	台風21号		3		36						約6,000		・送電線鉄塔9塔倒壊（市内7塔） ・全壊3棟は全て非住家 ・広範囲において停電（総数21,000軒）
6	平成16年	10月9日～11日	台風22号				1	1	20	9	4	10			・北浦沿岸堤防洗掘2箇所
7	平成19年	9月7日	台風9号							3	7		300		・歓迎塔の倒壊（あやめ橋）
8	平成25年	10月16日～17日	台風26号					4	41	33	5	21	1,900		・18時間で293mmの降雨
9	令和元年	9月8日～11日	台風15号	4		43	673			3	2		6,600		・その他非住家302棟・倒木多数 ・停電の長期化により避難所開設（～9/11）
10	令和元年	10月12日～13日	台風19号				2				3		1,700		・初めて警戒レベル3（避難準備・高齢者避難開始）を全域に発令（土砂災害の警戒） ・利根川本流の増水により香取市等から広域避難の要入（①潮来二中125名、②牛堀中351名） ・利根川の浸水想定区域内の2地区26世帯に警戒レベル3の再発令
11	令和元年	10月25日～26日	台風21号							3	6				・前川沿岸に警戒レベル3発令

時間差洪水の特性・・・

本市は、影響を受ける利根川本流、本市を取り囲む霞ヶ浦・常陸利根川・鰯川・北浦が、下流に位置することから、台風の際には、時間差で洪水が発生する可能性があります。また、霞ヶ浦・常陸利根川・鰯川・北浦の水位低下には、常陸川水門の開閉も大きく関係します。水門の開閉には、利根川本流の影響が大きく、利根川本流の水位が高いと常陸川水門を開けても逆流を起こしてしまうため、常に利根川本流の水位に注意しなければなりません。利根川本流の水位は、群馬県や栃木県、埼玉県等の利根川上流での降水量に影響を受けるため、台風一過の翌日や翌々日、青空の下、洪水被害が起こる可能性があります。（令和元年10月の台風19号の際に神栖市で浸水被害がありました。）

利根川＝常陸利根川ではない・・・

利根川本流で水位が上昇した令和元年10月の台風19号の際、香取市ではエリアメールで避難勧告が配信されました。その際に、香取市で発令されたエリアメールが潮来及び日の出地区周辺でも確認されました。その内容の利根川を、常陸利根川と勘違いされ、市役所へ問合せの電話が2時間半で約300件ありました。

潮来市洪水・土砂災害ハザードマップ

【全域図】

【拡大図④】

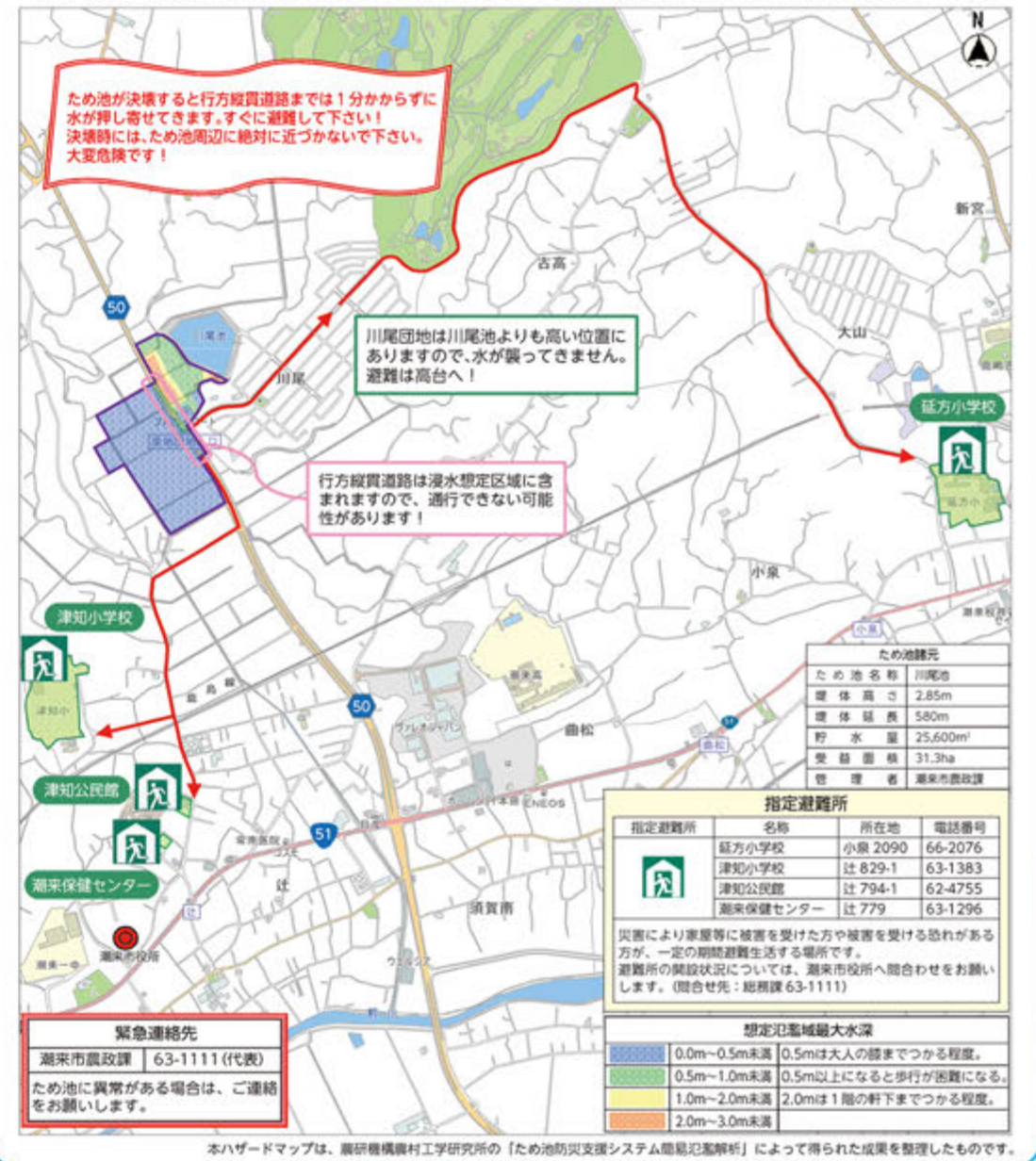
【拡大図②】

【拡大図③】

【拡大図①】

川尾池ハザードマップ

このハザードマップは、防災重点ため池である「川尾池」が決壊した場合を想定して作成しています。ため池が決壊する場合として、大地震発生時や大雨時が想定されますが、これら大規模災害発生時には、道路の陥没や冠水等、想定外の出来事が発生していることが考えられますので、十分に注意して避難して下さい。

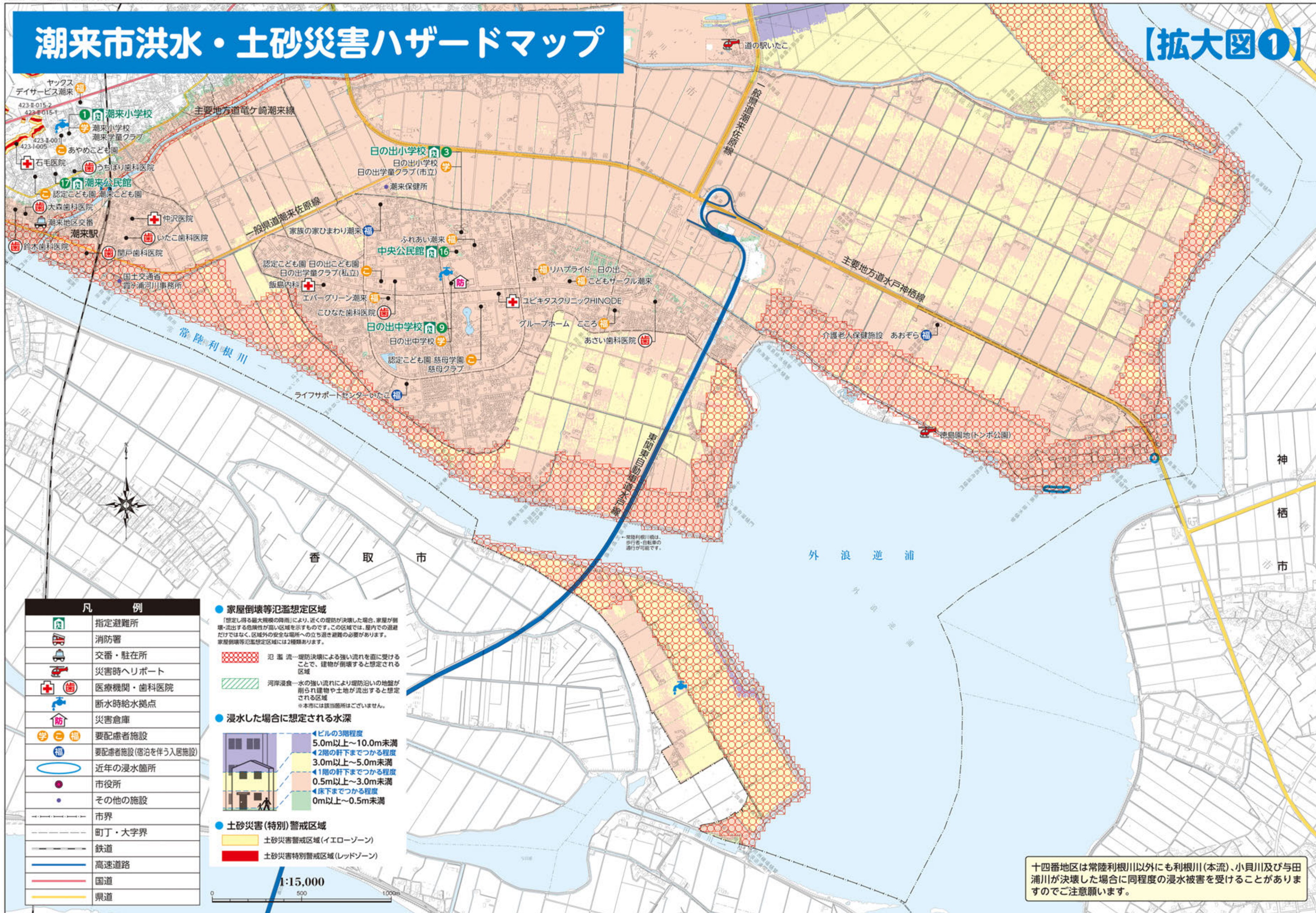


1:40,000

0 1000 2000 3000m

潮来市洪水・土砂災害ハザードマップ

【拡大図①】



潮来市洪水・土砂災害ハザードマップ

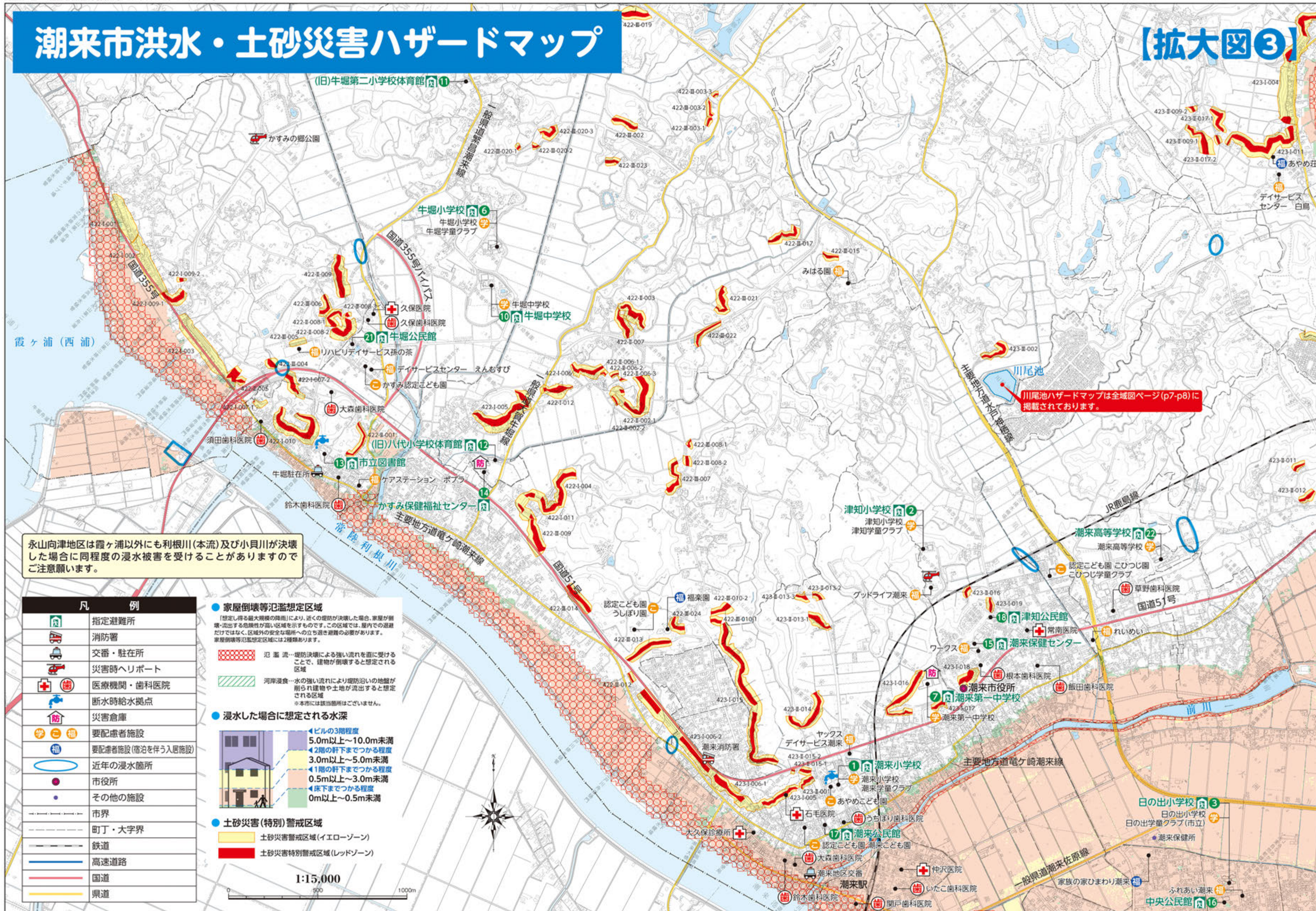
【拡大図②】



凡 例	
	指定避難所
	消防署
	交番・駐在所
	災害時ヘリポート
	医療機関・歯科医院
	断水時給水拠点
	災害倉庫
	要配慮者施設
	要配慮者施設(宿泊を伴う入居施設)
	近年の浸水箇所
	市役所
	その他の施設
	市界
	町丁・大字界
	鉄道
	高速道路
	国道
	県道

潮来市洪水・土砂災害ハザードマップ

【拡大図③】



潮来市洪水・土砂災害ハザードマップ

【拡大図④】

凡 例	
	指定避難所
	消防署
	交番・駐在所
	災害時ヘリポート
	医療機関・歯科医院
	断水時給水拠点
	災害倉庫
	要配慮者施設
	要配慮者施設(宿泊を伴う入居施設)
	近年の浸水箇所
	市役所
	その他の施設
	市界
	町丁・大字界
	鉄道
	高速道路
	国道
	県道

● 家屋倒壊等氾濫想定区域

「想定し得る最大規模の降雨」により、近隣の堤防が決壊した場合、家屋が倒壊・流出する危険性が高い区域を示すものです。この区域では、屋内での避難だけでなく、区域外の安全な場所への立ち退き避難の必要があります。家屋倒壊等氾濫想定区域には2種類あります。

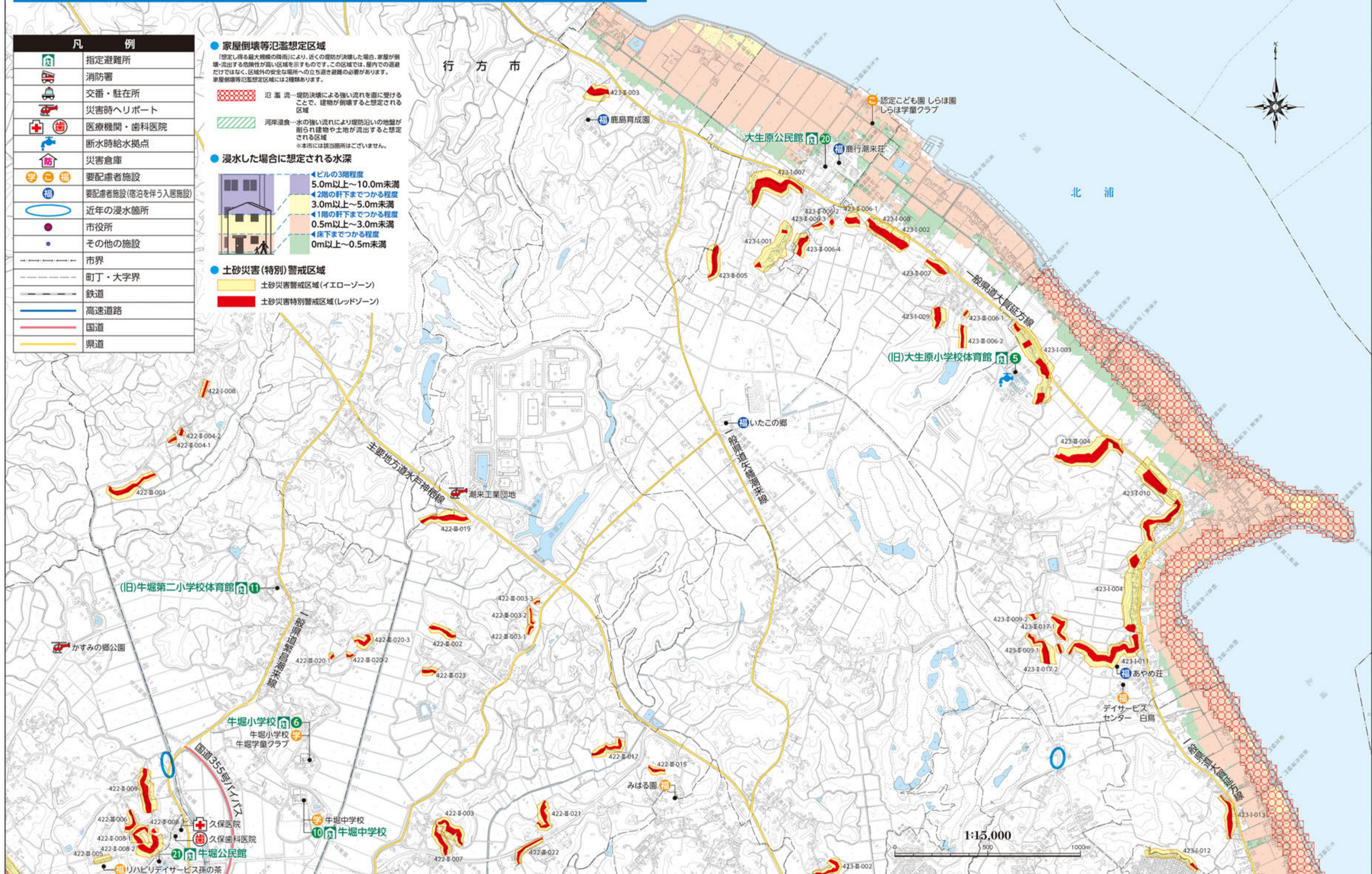
- 氾濫流…堤防決壊による強い流れを直に受けることで、建物が倒壊すると想定される区域
- 河岸浸食…水の強い流れにより堤防沿いの地盤が削られ建物や土地が流出すると想定される区域
※本市には該当箇所はございません。

● 浸水した場合に想定される水深

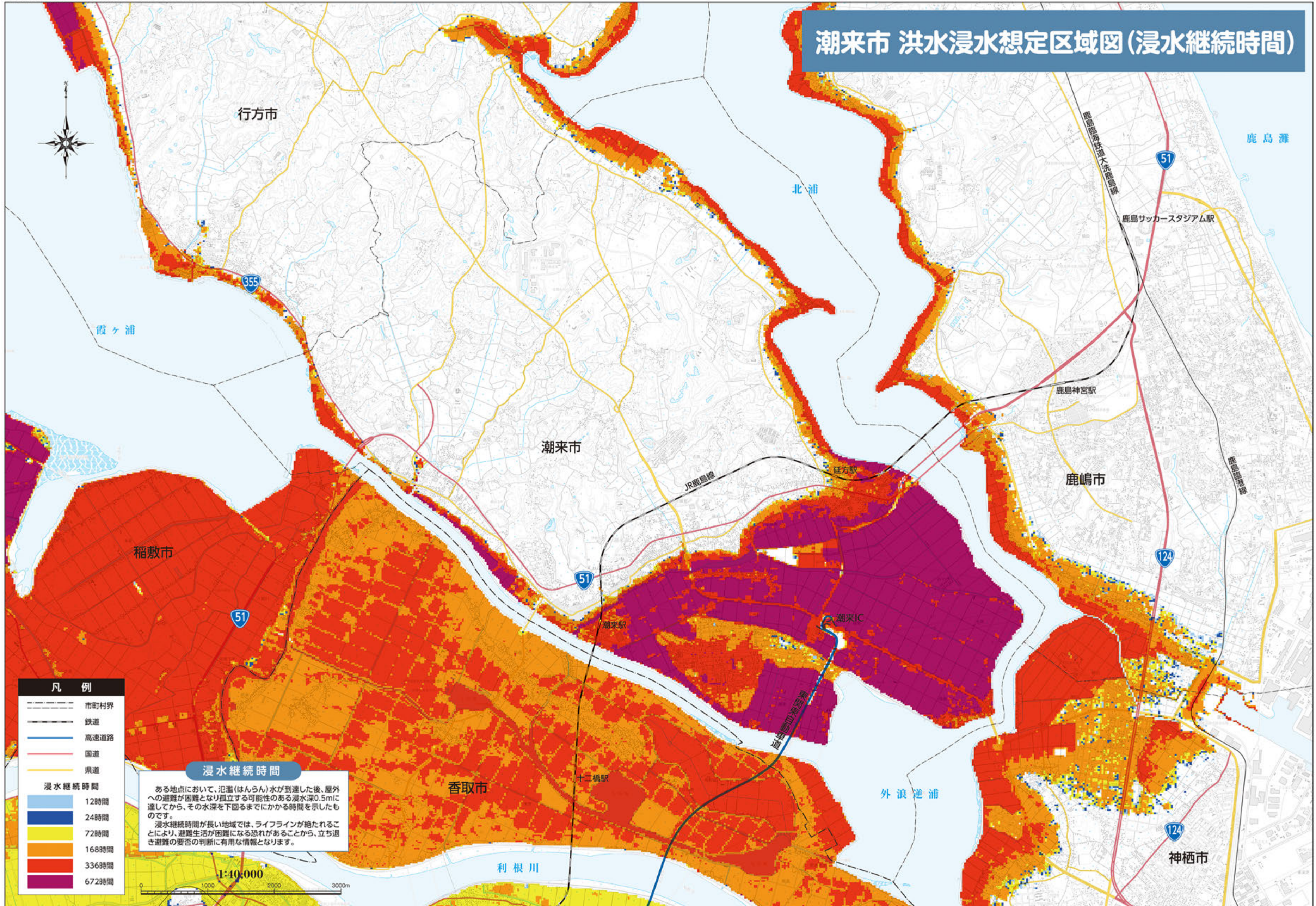
- ビルの3階程度
5.0m以上～10.0m未満
- 2階の軒下までつかる程度
3.0m以上～5.0m未満
- 1階の軒下までつかる程度
0.5m以上～3.0m未満
- 床下までつかる程度
0m以上～0.5m未満

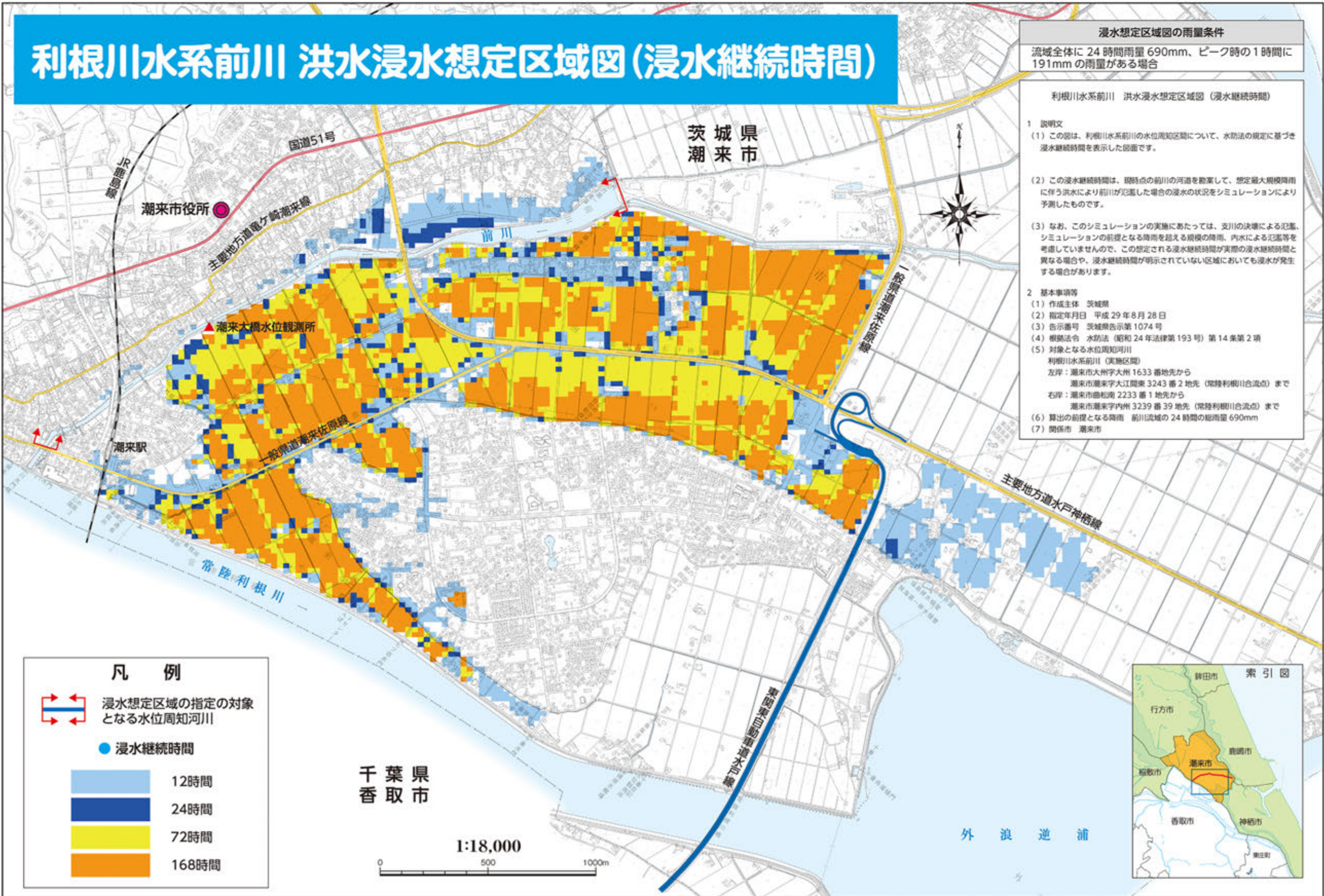
● 土砂災害(特別)警戒区域

- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
- 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)



潮来市 洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)





地震について

地震は突然起こります。家族の安全と被害を最小限に食い止めるためにも日頃からの準備が必要です。家族で防災について話し合い、災害から身を守りましょう。

日頃から安全確認をしておきましょう

● わが家の耐震診断

家の間取りから、水まわり、ガスの位置、電気のブレーカー、家具の位置をチェックする。また、家屋の耐震診断は専門家に相談し、補強等を実施する。



● 高い所に重い物を置かない

地震時の落下によるケガの原因になるので、家具の上にテレビなどの重い物を置かない。



● 燃えやすいものを置かない

二次災害を防ぐため、台所のガス台付近、ストーブのまわりなど、火元となる場所に燃えやすいものを置かない。



● 家族で話し合い

家族の役割分担や、途中で家族が離ればなれになった場合の集合場所も決めておきましょう。



屋外の安全対策

地震による被害を減らすために、自宅の安全対策について点検しましょう。住宅の耐震性に不安がある場合は、耐震診断を行い、補強等を実施するようにしましょう。

□ 屋根



- 屋根のひび割れ、ずれ、はがれなどがなく確認しましょう。
- アンテナはしっかりと固定しましょう。

□ 窓ガラス



- 万一の為にガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。
- 強化ガラスにしましょう。

□ ブロック塀



- ブロック塀は、ぐらついていないか、ひび割れや破損はないか確認しましょう。
- 鉄筋が入っているか、特に通学路・避難路に面している所はしっかり補強しましょう。

□ 玄関まわり



- 通行の支障となるものを置かないようにしましょう。
- 古新聞・古雑誌など引火しやすいものを放置しないようにしましょう。

潮来市の飲料水兼用耐震性貯水槽…

大規模地震での飲料水確保のため潮来市では飲料水兼用耐震性貯水槽を5箇所に設置しています。この貯水槽は水道本管に接続されており絶えず新しい水が循環しております。大規模地震の際には遮断弁が作動し、貯水槽内に60t(5t)の新鮮な水が確保され、約6,600人(550人)が1日3リットルの非常用飲料水を3日分給水することができます。

- 設置箇所 ●市立図書館(牛堀地区):60t ●潮来第二中学校(延方地区):60t ●日の出中学校(日の出地区):60t
●潮来小学校(潮来地区):60t ●十四番集会所(潮来地区):5t



室内の安全対策

地震時のケガの原因は、家具などの転倒によるものももっとも多く、室内の散乱は逃げ遅れてしまう原因にもつながります。家具の配置や固定具合いを見直し、安全対策に努めましょう。

□ テレビ・パソコン



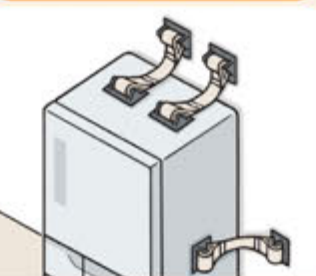
- できるだけ低い位置に固定して置き(家具の上はさける)、金具や耐震マットなどで固定しましょう。

□ 暖房機器



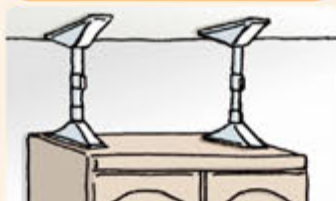
- 自動消火装置付きのものを選び、周囲に燃えやすいものを置かないようにしましょう。

□ 冷蔵庫



- 冷蔵庫ストッパーを用いて冷蔵庫の天板、または側板と壁との間をベルトで固定しましょう。

□ 家具



- 背の高い家具や本棚は、L型金具や突っ張り棒などで固定しましょう。タンス・本棚などに収納する時は重い物を下に、軽い物を上に収納しましょう。

震度ごとの揺れのイメージ

地震の震度

気象庁
震度階級

震度1



屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。

震度2



電灯などがわずかに揺れる。

震度3



屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。

震度4



電灯などが大きく揺れ、眠っている人のほとんどが、目を覚ます。

震度4以上の揺れが予想された場合、**全国瞬時警報システム(Jアラート)**により**緊急地震速報**が流れます。

震度5弱



大半の人が恐怖を覚え、物につかまると感じる。棚の食器類、書棚の本が落ちることがある。

震度5強



物につかまらなと歩くことが難しい。補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度6弱



立っていることが困難になる。固定していない家具が移動し、倒れるものもある。

震度6強



地面をはわいと動くことができない。耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。

震度7



耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

地震発生！必ず行うこと

最優先で自分の命を守る！

揺れが来たらすぐに頭を守るなどの安全確保の行動を！

もし、外出中に地震が起きたら…

自動車運転中は…



- 1 ハザードランプを点灯し、周りの車に注意をうながす。
- 2 急ブレーキはかけず、緩やかに速度を落とし、道路の左によせて停車する。
- 3 車から離れるときは、カギをつけて、ロックはしない。

鉄道・バスでは…



- 1 つり革、手すりにしっかりつかまる。
- 2 勝手に車外に飛び出さない。
- 3 乗務員の指示に従う。

津波が襲ってきそうな所にいたら…



- 1 すみやかに高いところへ避難する。
- 2 警報、注意報が解除されるまで海辺や河川には近づかない。

エレベーターでは…



- 1 最寄りの階に停止させ、すぐに降りる。
- 2 万一閉じ込められたら、エレベーター内部の状態をインターホンで通報する。

ゆれやすさマップ

揺れやすさマップは、潮来市域に影響のある地震について、それぞれの震度分布を50メートルメッシュごとに作成し、メッシュ内で考えられる最大の震度を表現したものです。

自分の家はどのくらい揺れる？

学校や職場、商店など、よく行くところ、よく通る道の、揺れやすさは？

強い揺れで、ブロック塀が壊れたり、電柱が倒れたりすることもあります。

揺れだけでなく、がけ崩れにも気を付けて！

こんなところが良く揺れます

昔、湿地や田んぼがあった。

周りよりちょっと低く、大水に浸かったことがある。

造成する前は、谷津だった。

普段から、震度のわりによく揺れる。

●揺れやすさマップ凡例

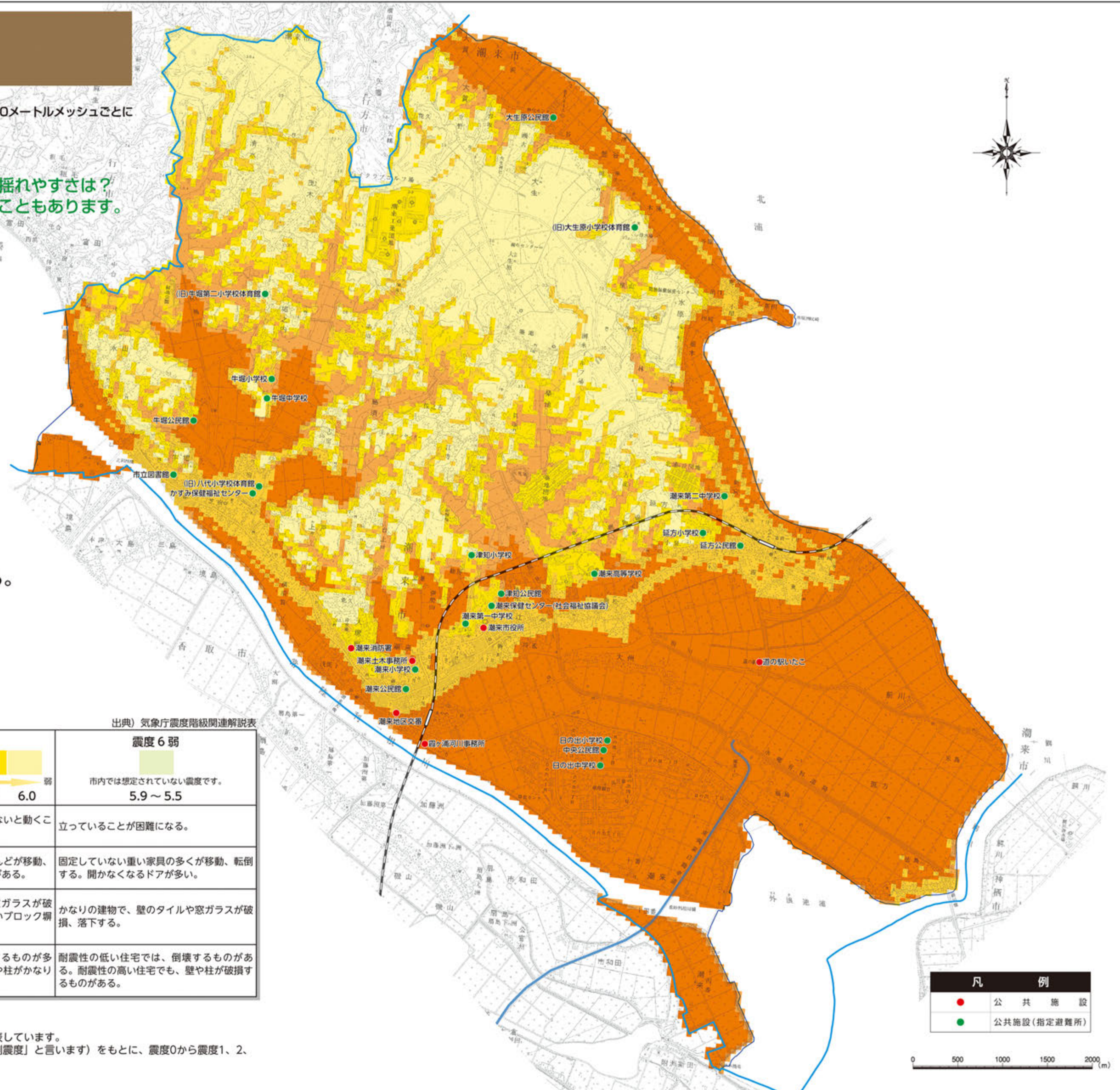
震度階級	震度7	震度6強	震度6弱
計測震度	市内では想定されていない震度です。 6.5～	6.4 6.3 6.2 6.1 6.0	市内では想定されていない震度です。 5.9～5.5
人間	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。	立っていることができず、はわないと動くことができない。	立っていることが困難になる。
屋内の状況	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。
屋外の状況	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
木造建物	耐震性の高い住宅でも、傾いたり、倒壊するものがある。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱がかなり破損するものがある。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。

地震の大きさ…震度とは

地震が起こったとき、ある場所での揺れの程度を表すのが震度です。

震度の決め方は国によって異なり、わが国では気象庁が定めた震度階級によって震度を表しています。

現在、気象庁が発表する震度は、震度を観測するための「震度計」による計測値（「計測震度」と言います）をもとに、震度0から震度1、2、3、4、5弱、5強、6弱、6強、7の10段階で表示します。



凡 例	
●	公 共 施 設
●	公共施設(指定避難所)

0 500 1000 1500 2000 (m)

潮来市液状化ハザードマップ

平成23年3月11日に起きた東日本大震災により、潮来市では地盤の液状化による被害が発生しました。甚大な被害を受けた日の出地区をはじめ潮来・辻地区、小泉地区、十番地区、徳島地区、延方・大洲地区の各地区でも多くの被害が見られました。

地区名	被災面積	被災家屋数
潮来・辻地区	0.72 km ²	312 棟
小泉地区	0.05 km ²	20 棟
十番地区	0.42 km ²	36 棟
徳島地区	0.12 km ²	62 棟
延方・大洲地区	0.64 km ²	174 棟
日の出地区	約 2 km ²	3,072 棟

液状化現象とは？

液状化現象とは、地震の強い揺れにより土の粒子がバラバラになって、土全体がドロドロの液体のような状態になる現象をいいます。液状化が発生すると、それまで安定していた建物の地盤が急に柔らかくなり、建物を支えることができず、沈下したり傾くなどの不具合が生じ、生活に支障をきたします。

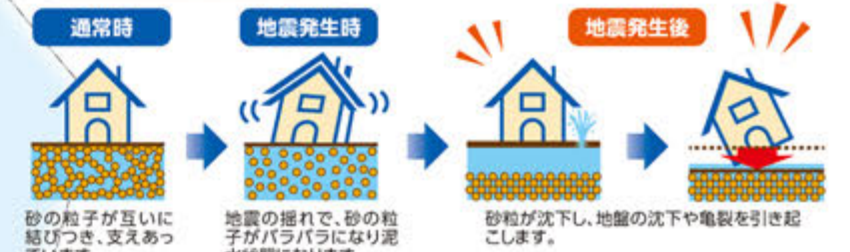


地面から泥水が噴き出したり、地中管等が浮き上がります。



建物や外構等が傾きます。

液状化発生メカニズム

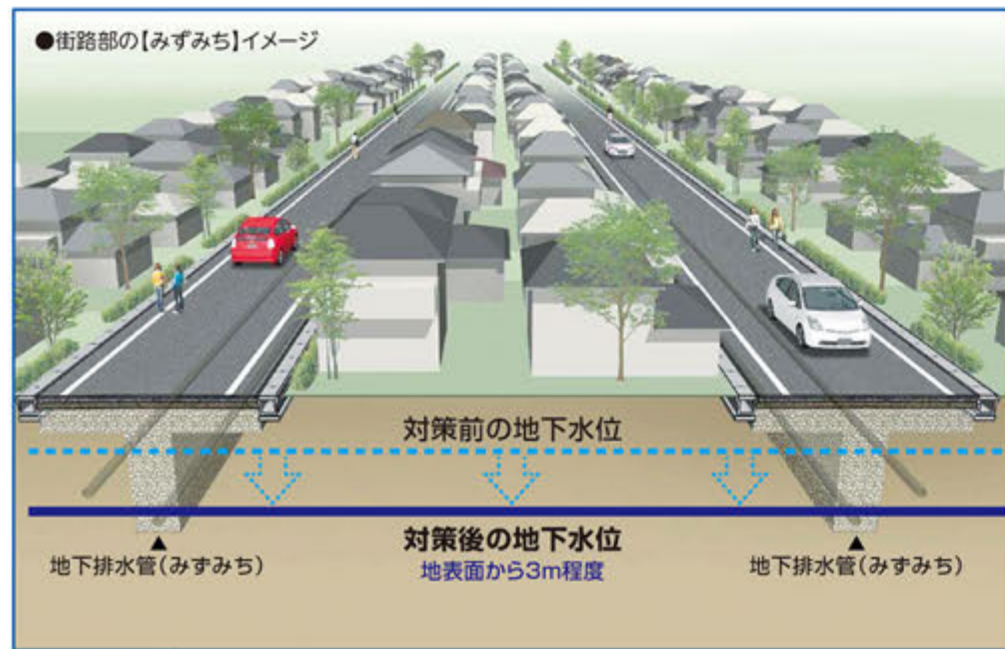


凡 例	
	液状化した地域
	液状化対策をした地域
	高 速 道 路
	国 道
	県 道
	鉄 道
●	公 共 施 設
●	公共施設(指定避難所)

液状化現象を防ぐ仕組みづくり

潮来市では復興交付金を活用して、市内でもっとも被害の大きかった日の出地区の液状化対策にかかわる調査・検討を進めてきました。その結果、液状化対策工法として【地下水低下工法(みずみち)】の採用が確定し、復旧整備と液状化対策を行いました。

●街路部の【みずみち】イメージ



●日の出地区対策例

地下水位を低下させるため、地表面から3m程度の深さのところに総延長約46kmの地下水排水管(みずみち)を埋設。これにより、日の出地区全体(約200ha)の液状化の抑制が図られ、予想される大規模地震の再来時にも被害を最小限に抑えられることが可能となります。

日の出地区 復旧の様子



1:30,000

0 1000 2000m



災害発生時の避難行動

市から避難指示があった場合には、直ちに指示された避難所等に避難しましょう。

避難の際は、自分で判断し自分の身は自分で守る「自助」、近隣地域で声をかけ合い助け合う「共助」を基本とし、余裕を持って早めの対応を心がけてください。**避難先は避難所だけではありません。**安全な場所に住む親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。また、安全な場所に住む方が避難所に行く必要はありません。

避難行動の注意点

正確な情報収集と自主的避難を



テレビ・ラジオ、緊急速報メールなどで最新の気象・災害情報を入手しましょう。避難指示がある場合はもちろん、危険を感じたら自主的に避難準備を始めましょう。

助け合って避難を



できる限り1人だけの避難は避けましょう。お年寄りや子ども、病気の人などは避難に時間がかかる場合があり、早めの避難が必要です。家族だけではなく、近所の人との避難にも協力しましょう。

外出先では係員の指示に従う！

安全に避難する



塀ぎわ、狭い道、がけや川のそばは避けて避難しましょう。地震の際は余震に注意し、落下物やガラス片、自動販売機などにも気をつけ、垂れ下がった電線には触れないようにしましょう。

段差や溝にも注意！

大雨・冠水時の避難



冠水した場合、水の流れていなくても歩ける深さの目安は、ひざ下(約30cm)くらいです。水の深さが腰まであったり、浅くても水の流れて速い場合は無理をせず、高い場所で救助を待ちましょう。

避難する前に



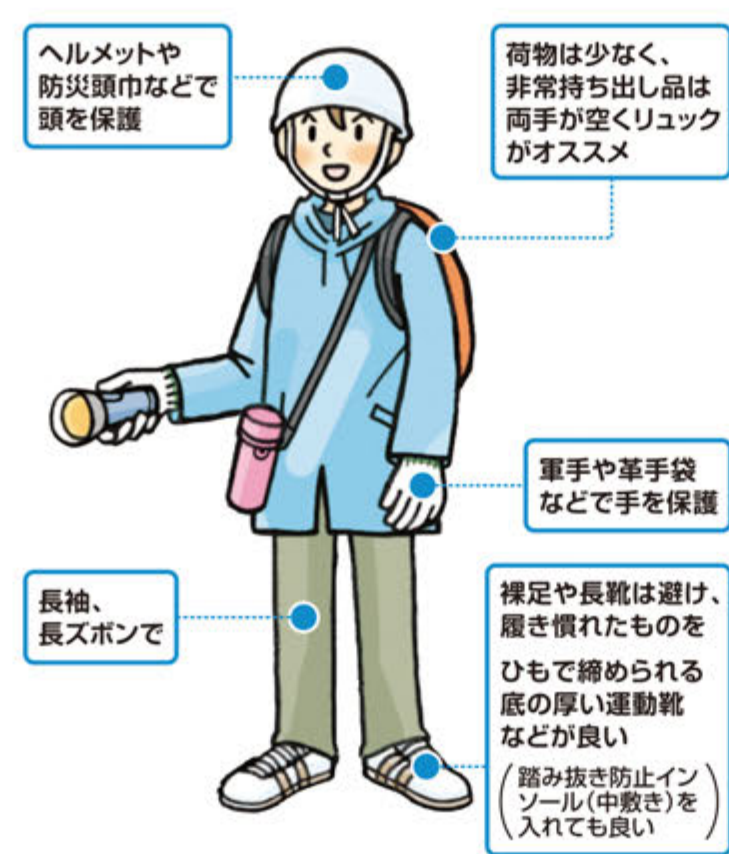
あらかじめ避難所等を確認しておき、避難する前にガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落としましょう。また、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。

車での避難は控える



避難の原則は徒歩です。自動車での避難は緊急車両の妨げや渋滞等のおそれがあるため、できる限り控えましょう。また、自動車を堤防や道路に放置しないようにしましょう。

動きやすい服装で避難を



ヘルメットや防災頭巾などで頭を保護

荷物は少なく、非常持ち出し品は両手が空くリュックがオススメ

軍手や革手袋などで手を保護

長袖、長ズボンで

裸足や長靴は避け、履き慣れたものをひもで締められる底の厚い運動靴などが良い
(踏み抜き防止インソール(中敷き)を入れても良い)

避難の方法

●気象情報から判断して事前に安全な場所に避難・・・

立ち退き避難

- ▶ 行政からの情報を確認し指示された避難所へ
- ▶ 安全な地域の知人・友人宅(市外も含む)へ



浸水している中や河川・水路沿いの避難は危険です。浸水する前に早めの避難を心がけましょう。

●屋外へ出ることが危険な場合、屋内の安全な場所に避難・・・

屋内安全確保

- ▶ 浸水から逃れるため、2階等の高所へ
- ▶ 土砂災害の危険がある場合は、山や斜面から反対側の部屋へ



何よりも命を守る行動を！

特別警報について

気象庁では、これまでにない大規模な災害の発生や危険が迫っている場合、「**特別警報**」を発表します。「**特別警報**」と聞いたら落ち着いて状況を確認し、危険な所から離れましょう。

特別警報の発表基準

現象の種類	基 準
大 雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
暴 風	暴風が吹くと予想される場合
高 潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により 高潮になると予想される場合
波 浪	高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大 雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合
津 波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合
地 震	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合

特別警報が発表されたら

- 尋常でない大雨や津波等が予想されています。
- 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

火災対策について

災害時における火災は被害を何倍にも大きくしてしまいます。

災害時に限らず、普段の日常生活においても発生しやすいので常に気をつけましょう。

火災予防の10項目

火災予防の10項目

- ストーブの周辺はすっきりと**
ストーブはカーテンや洗濯物など燃えやすいものの近くで使用しない。石油ストーブの給油、移動は必ず火を消してから。
- 揚げ物のときはその場を離れない**
電話や来客の応対など台所を離れる時は必ず火を消してから。ガスコンロの周囲や上部に燃えやすいものを置かない。
- 寝たばこ、ポイ捨て厳禁**
寝たばこは、しない、させない習慣を。火のついたたばこの放置やポイ捨ても厳禁。
- 放火をさせない環境づくり**
家の周りに燃えやすいものを置かない。夜に出す家庭のごみが放火の的になることがあるので、ごみは指定された日の朝に出すこと。物置、車庫などの戸締まりはしっかりと。
- 強風の日のたき火は危険**
消火用の水を用意して、子どもだけでたき火をさせない。風のある日のたき火はやめましょう。
- 子どもにはマッチやライターで遊ばせない**
日頃から子どもに火の正しい使い方や火の恐ろしさをきちんと教える。目の届くところにマッチやライターを置きっぱなしにしないよう心掛けましょう。
- 風呂の空だきに注意を**
点火のときは浴そうの水量を確かめて。点火、消火は目で確認。
- 就寝前の火の用心**
ガスの元栓、コタツのコンセントなど指さし点検で就寝前に確認しましょう。
- コンセントにこまめな気遣い**
電気器具のコンセントは、ホコリが溜まり発熱することがあります。定期的に掃除をしましょう。タコ足配線も発熱の原因となるのでやめましょう。
- 消火の備えを万全に**
火災の早期発見や逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器※や消火器を備える。消火器の使い方を覚えるために防火訓練には積極的に参加しましょう。

※住宅用火災警報器 設置後5年前後であれば電池切れの確認を、10年経っている場合は機器の寿命のため買い替えましょう。

消火器の使い方

- 安全ピンに指をかけて上に引き抜きます。
- ホースを外して火元に向けます(できるだけ先端をもつ)。
- レバーを強く握ると消火剤が噴射されるので、煙や炎ではなく、火元に吹き付けます。

消火のあとも熱が残っていると再発火する恐れがあるので注意しましょう。

消火器の設置は日の当たる場所や湿気の多い所を避けます。

災害・気象情報の入手

災害時は様々な情報が錯綜し、混乱を招く場合があります。

大切なのは「最新の正しい情報」を入手し、行動することです。普段から気象庁が発表する気象情報に注意し、いざという時に備え、どのような情報がどのようにして受信できるのかを確認しておきましょう。

災害情報の入手

エリアメール (NTTドコモ)
緊急速報メール
(au・ソフトバンクなど)



携帯電話・スマートフォンをご利用の方に、緊急を要する気象・地震・津波などの情報が一斉に配信されます。
※受信は無料ですが、各種対応機種による設定をお願いします。

テレビ・ラジオ
SNS・インターネット



様々な媒体を利用して情報を入手しましょう。また、テレビの地デジ放送でも情報が入手できます。テレビリモコンの「**dボタン**」を押してください。

気象や防災に関する情報は以下QRコードのホームページなどからも入手できます。台風や豪雨はある程度進路や規模などを予測できるため、普段から気象情報に注意しましょう。

気象庁 ホームページ 	国土交通省 川の防災情報 	気象情報・河川情報 ポータルページ 	Yahoo! 防災情報 	NHKニュース 防災
茨城県 防災・危機管理 ポータルサイト 	茨城県 河川情報システム 	茨城県 防災情報メール 	潮来市 防災情報メール 	東京電力 停電情報

災害用伝言サービス 安否の確認など、家族や知人との連絡にご活用ください。

災害用伝言ダイヤル 171

大規模な災害が発生し、安否確認等の電話によって電話回線が混雑し、電話が繋がりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にする「声の伝言板」です。

☐ 録音 171 → 1 → 0 → 伝言の録音
☐ 再生 171 → 2 → 0 → 伝言の再生

案内放送が流れます... 自宅、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号(市外局番から)

詳しくはNTTホームページで <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/> 171 または NTT 検索

携帯電話災害用伝言板



大規模な災害が発生した場合に、各携帯電話会社から提供される災害用伝言板です。携帯電話やスマートフォンから安否情報の登録・確認ができます。
※詳しい内容は携帯電話各社のホームページ等で確認してください

マイ・タイムラインの活用

あなたの家の「マイ・タイムライン」

避難にかかる行動予定を「マイ・タイムライン」と呼んでいます。下の図にあなたの避難のタイムラインを、家族それぞれの避難にかかる時間とあわせて記入してみてください。

避難情報 ・気象情報 など	わたしと家族の行動	行動例 父・母・兄(中学生) 祖父(70代) わたし(小学3年)
警戒レベル1 早期注意情報		テレビのデータ放送で 情報収集を始める お兄ちゃんが携帯電話を 充電する(30分) 母さんが非常持ち出し袋 を確認する(10分) みんなで避難経路を 再確認する(5分) お母さんが 叔父さんに電話(5分)
警戒レベル2 大雨・洪水注意報	自主避難など注意の呼びかけ(潮来市)	
警戒レベル3 高齢者等避難	大雨・洪水警報/氾濫警戒情報	避難開始(お母さん わたし お兄ちゃん) 避難にかかる時間 (20分) 避難完了
警戒レベル4 避難指示	土砂災害警戒情報/氾濫危険情報	避難開始(お父さん お兄ちゃん) 避難にかかる時間 (10分) 避難完了
警戒レベル5 緊急安全確保	大雨特別警報/氾濫発生情報 この時点で危険な場所から避難を完了していない場合は その付近で、取り得る最大限の安全確保を図ること!! 安全を確保できるとは限らないので、警戒レベル4までに必ず避難を!	メモ(例) 非常持ち出し袋 (玄関横断戸にあり) おじいちゃん×が 忘れずに!!

あなたの家の避難方法

避難先によって、避難する時の方法や、避難にかかる時間は異なります。あらかじめ避難場所に応じた避難方法を確認しておきましょう。

避難場所が () の場合

避難の方法: ☐ 自動車 ☐ 徒歩 ☐ ()

避難にかかる時間: _____ 分

避難のタイミング: ()

避難場所が () の場合

避難の方法: ☐ 自動車 ☐ 徒歩 ☐ ()

避難にかかる時間: _____ 分

避難のタイミング: ()

国土交通省関東地方整備局では小中学生向けのマイ・タイムライン検討ツール【逃げキッド】を作成しておりダウンロードも出来ますので、検索してみましょう。

逃げキッド

検索

自主防災組織と応急手当

災害が発生したとき、交通網の寸断、同時多発火災などにより、消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そんなとき力を発揮するのが、「地域ぐるみの協力体制」です。地域や近隣では日頃から避難や声かけ等、「共助」の意識の醸成に努めるとともに、自主防災組織の活動について理解を深めましょう。

自主防災組織の活動

平常時

地域内の安全点検

防災知識の普及・啓発

防災訓練

災害時

初期消火

避難誘導

救出・救助

情報の収集・伝達

避難所の開設・運営

●災害に備えるための活動を日ごろから行います。



地域内の
安全点検



防災訓練

●災害発生時に協力し、被害の拡大を防ぐために行動します。



情報の収集・伝達



負傷者などの
救出・救護

応急手当の方法

心肺蘇生法の手順

1 反応(意識)を確認する

傷病者の耳元で「大丈夫ですか」と大声で呼びかけながら、肩を軽くたたき、反応があるか、ないかをみます。

2 助けを呼ぶ

反応がなければ、大きな声で「誰か来て!人が倒れています!」と助けを求めます。協力者が来たら、「あなたは119番へ通報してください」「あなたはAEDを持ってきてください」と具体的に依頼します。

3 呼吸を確認する

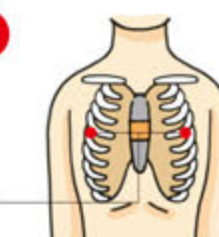
傷病者が《普段どおりの呼吸》をしているかどうかを確認します。

4 胸骨圧迫を行う

呼吸がない場合は、胸骨圧迫を開始しますが、その前にエアロゾルの飛散を防ぐため、ハンカチやタオルなどがあれば傷病者の鼻と口にかぶせるようにします。マスクや衣服などでも代用できます。まず胸の真ん中に手の平を重ね合わせ、両ひじを伸ばし、体重をかけるようにしながら、1分間に100~120回を目安に真っすぐ下に押します。その場にAEDがある際には、AEDの音声ガイダンスに従います。AED動作後も引き続き胸骨圧迫を行い、救急隊に引き継ぐまでか、何らかの反応があるまで絶え間なく続けることが大切です。

胸骨圧迫

圧迫部位
乳頭と乳頭を
結ぶ線の真ん中



※休みなく繰り返す!



1分間に
100~120回

※深さは、4~5cm
沈むほど強く圧迫
します。

⚠ 正常な呼吸をしているが、
意識がない場合は回復体位にする



気動を確保する
ために、横向きに
して上の脚のひざ
を90度曲げて寝
かせる。

AED(自動体外式除細動器)による救命処置

AED(自動体外式除細動器)は、突然の心停止から、けいれんした心臓に電気ショックを与え、正常な状態に戻すための機械です。付属の電極パッドを傷病者に貼ると自動的に心電図を解析し、除細動が必要な場合のみ電気ショックを加える仕組みで、誰でも安全・確実に除細動が行えます。



AED(自動体外式除細動器)を装着し、音声ガイダンスに従って
除細動することは救命に大きな効果があります!



避難所一覧

指定避難所

(令和3年8月現在)

No.	施設名称	所在地	収容可能 人数	コロナ禍 収容人数	収容可能積 (㎡)	屋内面積 (㎡)	屋外面積 (㎡)	備 考
①	潮来小学校	潮来471	385	162	770	4,814	9,447	飲料水兼防火水槽
②	津知小学校	辻829-1	385	162	770	3,660	26,790	防災ヘリ離発着
③	日の出小学校	日の出3-12-1	424	166	848	5,236	10,257	
④	延方小学校	小泉2090	385	162	770	5,031	10,948	
⑤	(旧)大生原小学校体育館	水原1988-1	307	127	614	724	8,855	
⑥	牛堀小学校	堀之内1219-1	421	160	842	6,512	11,374	
⑦	潮来第一中学校	潮来1270	805	404	1,610	7,898	16,663	防災倉庫(食料)
⑧	潮来第二中学校	新宮1868-1	808	302	1,616	7,055	17,151	防災倉庫(食料) 飲料水兼防火水槽
⑨	日の出中学校	日の出3-9-18	836	384	1,672	6,930	16,000	防災倉庫(食料) 飲料水兼防火水槽
⑩	牛堀中学校	堀之内1009	841	353	1,682	5,754	31,000	
⑪	(旧)牛堀第二小学校体育館	堀之内1664	275	122	550	691	3,039	
⑫	(旧)八代小学校体育館	島須733	292	122	584	717	6,810	体育館脇南側校舎 1階防災倉庫
⑬	市立図書館	牛堀289	393	91	786	3,559	9,186	飲料水兼防火水槽
⑭	かすみ保健福祉センター	島須777	263	88	526	1,272	7,194	
⑮	潮来保健センター	辻794-1	134	52	268	753	1,186	
⑯	中央公民館	日の出3-11	1,065	278	2,130	3,657	3,490	
⑰	潮来公民館	潮来456-1	237	50	474	1,952	1,095	
⑱	津知公民館	辻794-1	107	49	214	795	560	
⑲	延方公民館	新宮1942-1	125	50	250	631	844	
⑳	大生原公民館	大生1027-4	100	41	200	710	851	
㉑	牛堀公民館	牛堀719	247	99	494	1,367	3,100	
㉒	潮来高等学校	須賀3025	655	324	1,310	7,727	35,400	
合 計			9,490	3,748	18,980	79,320	231,240	

広域連携避難所(4市協定に基づく広域避難)

潮来市は、神栖市・稲敷市・千葉県香取市と4市での「大規模災害時における広域避難の連携に関する協定書」を平成29年2月に締結しております。

この協定に基づき、市をまたぐ避難の必要が生じた際、居住する市町村以外の避難所利用が可能となりました。下記の避難所は潮来市からの援助要請を受けてから避難が可能となります。それ以外の場合や直接避難することは出来ません。

No.	所 管	避難所名称	所在地
1	香 取 市	竟成小学校	香取市観音481
2		小見川中学校	香取市小見川4685
3	稲 敷 市	桜川中学校	稲敷市下馬渡770
4	神 栖 市	神栖第四中学校	神栖市大野原中央二丁目8-46
5		平泉コミュニティセンター	神栖市平泉2751-2
6	潮 来 市	牛堀中学校	潮来市堀之内1009
7		潮来第二中学校	潮来市新宮1868-1

原子力災害広域避難協定(避難者の受入れ)

潮来市は原子力災害時における広域避難者の受入について、2つの自治体と協定締結しています。下記の2つの自治体は、ともに対象施設から30km圏内(UPZ:緊急時防護措置を準備する区域)にあり、原子力災害に見舞われた場合、福島県いわき市(本市など県内35自治体に避難)、県内の茨城町(本市と神栖市に避難)の住民を受入れます。

No.	締結市町村	締結日	対象人数	対象施設	備 考
1	福島県いわき市	平成30年1月29日	9,400	福島第一原発 福島第二原発	いわき市好間地区
2	茨城町	平成30年7月24日	8,700	東海第二原発	茨城町長岡地区 ほかの行政区

災害時の福祉避難所

潮来市には公設の福祉避難所が存在しません。そこで市内の福祉施設事業所と「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定書」の締結を現在、15の施設と行っております。

民間事業所の豊富な知識・経験により、一般の避難所では、共同生活が困難な方を受け入れる避難所として機能させるものです。

災害発生時に潮来市からの要請により、開設しますので、直接、施設に避難することは出来ません。